

XP Pro 32bit から Win.7 Pro 64bit へ (ci)

いろいろ調べているうちに、Windows 7+IE11 が生き延びる可能性はあるかもしれないと思い始めました。

手元には 2008 年に購入した DELL の PC が 2 台（デスクトップの Vostro 220s、ノート
の Vostro 1200）及び 5 年前に某ショップから 13,800 円で購入した Windows 7 SP1 Pro
64bit のインストール・ディスクがあります。

ちなみにこの種のソフトは現在 Amazon だと LAN ボードとのセットで 28,800 円、ヤフオ
クだと単品で 1.5 万円程度の価格となっています。

いずれの PC も本来は Vista 32bit を使うのですが、メーカー出荷時に XP 32bit にダウン
グレードしてもらっています。

どちらの PC に Win.7 をインストールするか迷いましたが、今後 Win.10 をプリインストール
したデスクトップを購入する心積もりなので、Vostro 1200 を選びました。

インストール手順についてはネット上に様々な記事があり、勿論参考にはなりますが、
肝心な点が抜け落ちています。正しい手順は次の通りです：

- 1 (Vostro 1200 の場合は F2 キーで) PC の BIOS を表示させ、BOOT の順序を HDD
から DVD/CD ドライブに変更します（なおこの変更はインストール終了後、元
に戻します）。
- 2 既存のドライブの削除、C ドライブの領域設定、フォーマットを行います。この辺
はネット記事を参照して下さい。
- 3 1 回目の再起動時、再起動のカウントダウンが進んでいる間に（出来れば DVD/CD
ドライブのアクセスランプが消えていることを確認して）インストール・ディスクを
外します。
これが非常に重要な手続きで、もしディスクを外さないと BIOS は再び DVD/CD
ドライブ（のインストールディスク）を参照するので同じ事を繰り返してしまいます。
- 4 OS のインストール後は PC を動かすための各種ドライバをインストールしますが、
通常は PC に付属しているディスクを使います。Vostro 1200 の場合はスムーズに
終了しました。

OSをインストールしたばかりのPCの動作があまりにモッサリしていたので、何か間違いをしでかしたかと心配しましたが、段々良くなりました（ご心配なく）。

また、ネット上で（OSを64bitにすると）Vostro 1200の内蔵無線アダプタ「インテル PRO/Wireless 3945ABG ネットワーク・コネクション」がPC付属ディスクのドライバではうまく動かないとの記事もありましたが、幸いそんな事はありませんでした。

話の後先が逆になりますが、今回64bitのOSをインストール出来たそもそもの理由はVostro 1200のCPU「インテル Core 2 Duo T7250」が64bit対応だったからです。インテルの場合、Core 2 (Duo)以降は64bit対応だそうです。64bit対応のCPUで32bitのOSは動かしますが、逆はダメです（一般的な使い方ではOSが32bit版でも何ら問題はありません）。

しかしインストール作業を進めるうちに大問題に遭遇してしまいました。それはフォルダに対するアクセス権の設定です。これはOSとしてのセキュリティに関連します。

一般的にはXP→Vista→7(→8)→10という順にセキュリティが厳しくなっているはずですが、XPで動いていたPCに7をインストールすると「エッ？」という事態になるわけです（おそらく10の場合はもっと厳しくなっていると思われます）。

具体的には（設定作業が相当進んでから）エクスプローラで表示される重要なフォルダに鍵マークが付いていることに気が付いたわけです。

鍵マークだけ外せばいいという事態ではなく、自分のフォルダにもアクセス出来ません。こうなると本当にどうにもならないので仕方なく再インストールして最初はどうなっていたのか調べました。そして我が目を疑いました。なんと最初からそうになっていたのです。

試行錯誤の末、どうにかアクセスは出来るようになったし鍵マークも消えました。

具体的にはアクセス出来ないフォルダの上流のフォルダを右クリックでプロパティを表示。「セキュリティ」タブの上欄の中で（特に）「SYSTEM」と「Administrators」のアクセス権がどうなっているかを見ます（＝フルコントロールにチェックが入っているかどうか）。チェックが無ければ「編集」でチェックを入れます。

さらに下欄の「詳細設定」から次のウィンドウを開きます。

まず「アクセス許可」タブが開くので、欄内の様子を見て「アクセス許可の変更」。
下の方に在る2行両方にチェックを入れて「適用」をクリック。これが何を意味しているかは分かりませんが、とにかくやるわけです。
すると Windows セキュリティから警告のダイアログが出ますが、無視して「はい」「はい」。
とにかく何でも許可して OK にします。

次に「アクセス許可」タブから「所有者」タブへ行き「編集」をクリック。
所有者の変更欄で Administrators や PC 名を選び、「サブコンテナとオブジェクトの所有者を置き換える」にチェックを入れて「適用」。
またまた警告が出ますが OK、OK、OK ボタンを押して対応します。
最後は監査タブで「続行」を押します。とにかく何でも「続行」と「OK」というわけです。

以上は失敗（＝フォルダを開こうとしてもアクセス不許可となる）しても繰り返します。
そもそも一体何がどうなっているのか分かっていないので、こうしたやり方になってしまいます。

そしてふと左のエクスプローラ欄を見ると、鍵マークが消えていたり、フォルダを開いてみると開けることが出来るようになっています。

全く腹立たしい事態ですが、Win.10 の場合はもっと大変なのだろうと思われました。
セキュリティも大事ですが、PC をまともに使えない方がもっと問題です。

以上